

木版画に情熱を刻む

絵本鬼来迎 ついに完成



光中学校三年五組(版画教室)男女十三人の生徒は、十二年間続いた木版画カレンダーの制作に終止符をうち、「生のおかし」として永遠不滅の絵本、「鬼来迎」の制作に昨年四月より取り組み九月の学校火災では生徒たちが丹精込めて仕上げた絵本の下絵や本版、道具などすべて焼失してしまいました。

そんな中にも生徒たちは屈せず「先生、もう一度やろうよ。ぼくたちガンバルよ」と、先生たちを激励し、再度の絵本制作に意欲を見せました。生徒たちは十月から下絵づくりに着手、自分の分担している仕事に熱中して制作に当たったかいがあつて、わずか二カ月足らずで木版まで仕上げてしまった

ほどの熱の入れよりに、指導に当たった鶴岡教諭もびつくり：絵本はタブロイド判三十四頁で、十七の場面が必要となり、

版画は百枚を超えました。

生徒たちが丹精込めて制作した絵本の出来栄えに関係者は大喜び……制作に当たった生徒たちの喜びの声を一言――

* * *

九月に火災があつたので、もう一度作りなおしました。

ぼくは「虫封じ」と「亡者を責める」・「墓参」を刷りました。絵本、鬼来迎ができあがつて、ほんとうにうれしいです。

三年五組

齊藤 清久(母子)

十月から刷れると思つていたが、学校が火事で彫った板がみんな焼けてしまいました。残念でしたが、また彫りなおしをやりました。そして、刷りを苦勞してやりました。ぼくは、「仁王」と「妙西」と「広濟寺建立」を受けもちました。やっと完成したという感じではほつとしています。

三年五組

江波戸繁己(篠本二区)

* * *

火事がなければ、十二月に完成していたのに残念でした。十月から再度、作りなおしてやっと、できあがりしました。「和尚道行」・「さいの河原」

和尙道行・さいの河原



1枚1枚といねいに刷り上げる姿

を作りました。今、完成してとてもうれしいです。こんな立派な本になるとは思いませんでした。三年五組

三年五組

土屋 育代(宝米)

大島 隆司(作間内)

* * *

彫り終わった板がみんな焼けてしまいました。もう一度、作り

なおすことになつたとき、私は、気が遠くなる気持ちでした。絵を書いて、彫つて、刷り、一つの作品を作ることには大変なことです。でもがんばってやりました。そして今、や



作業に取りくむ子どもたち



指導者を囲んで喜びの子どもたち